令和６年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和６年８月２１日

１．団名
衆議院東南アジア各国における政治経済事情等調査議員団

２．目的
インドネシア、ブルネイ及びフィリピンにおける政治経済事情等に関する調査のため

３．派遣議員団

団長　　内閣委員会　委員長　　星野　剛士　君（自民）
　　内閣委員会　理　事　　冨樫　博之　君（自民）
　　同　　理　事　　森山　浩行　君（立憲）

同行　　衆議院内閣調査室次席調査員　　若林　茂一

４．派遣期間
令和６年８月４日（日）～９日（金）までの６日間

５．派遣国
インドネシア、ブルネイ、フィリピン

６．主な調査内容
（１）インドネシア
① 警察庁によるインドネシア国家警察への協力・支援について調査するため、ジャティムリア交番を訪問し、意見交換を行った。
② サイバーセキュリティ等の取組について調査するため、インドネシア大学デポック校を訪問し、意見交換を行った。
③ JENESYS（対日理解促進交流プログラム）の内容や公務員制度等について、JENESYS により訪日した経験のある国家公務員と意見交換を行った。

（２）ブルネイ

① アズミ首相府エネルギー担当副大臣を訪問し、エネルギー政策について意見交換を行った。
② ＢＭＣ社を訪問し、ブルネイ産天然ガスからメタノールを製造・輸出する施設等について視察した。

（３）フィリピン
① ウイ情報通信大臣を訪問し、サイバーセキュリティ対策について意見交換を行った。
② 海洋安全保障の取組について調査するため、フィリピン沿岸警備隊を訪問し、沿岸警備隊の取組について説明を受け、巡視船を視察した。
③ フィリピンにおける犯罪の状況や警察の取組、我が国及びフィリピンの警察の協力関係について調査するため、フィリピン国家警察を訪問し、意見交換を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。